

会 議 要 旨

(1 / 3)

会議の名称	第5回 川越市国際化基本計画審議会
開催日時	平成28年1月29日(金) 午後5時 開会 ・ 午後6時 閉会
開催場所	川越市役所第一委員会室
議長(委員長・会長)氏名	山田 あき子
出席者(委員)氏名(人数)	亀田 道明、清水 俊男、ベアリ・ドウエル、焦 雁、筒井 哲朗、藤森 貞花、王 一 (7人)
欠席者(委員)氏名(人数)	鐸木 昌之、エンフバートル・アミナ (2人)
事務局職員職氏名	中里国際文化交流課長、 檜田国際文化交流課副課長、田中国際文化交流課主査
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第四次川越市国際化基本計画(原案)について (2) 第四次川越市国際化基本計画(答申)(案)について (3) その他 4 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回川越市国際化基本計画審議会 次第 ・ 第四次川越市国際化基本計画(原案) 【資料5-1】 ・ 意見公募手続きの結果について 【資料5-2】 ・ 第四次川越市国際化基本計画について(答申)(案) 【資料5-3】

議 事 の 経 過

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題

(1) 第四次川越市国際化基本計画（原案）について

事務局説明後、意見及び質疑。主なものは次のとおり。

VI 計画の推進 2 計画の進行管理と評価方法について

- 評価方法はそれぞれの部署が行うのか。
⇒事業担当課が、今年度の実施状況、来年度の予定等を決められた共通のシートに記述し、会議で報告する形をとっている。報告された事業結果をもとに、計画の評価、変更や事業の見直しを行う。
- 評価は年度末に行われるのか。
⇒年度末、もしくは次の予算に反映できる時期となると思われる。
- この評価方法は新しいものか。
⇒市の計画の進行管理は、現在この方法で行われている。

VI 計画の推進 3 計画の指標について

- 全体の観光客は現在どれくらいか。外国人観光客数の割合が1.1パーセントということだが、どのように人数をカウントするのか。
⇒平成26年度川越への観光客数は658万人であった。大きなイベントなどの固定した場所で、サンプリング調査を行いカウントしている。
- 指標の一つに「外国籍市民国際人材ネットの登録者数」というのがある。
「通訳・翻訳ボランティアの登録者数」もどこかに記載してはどうか。新たに指標を増やすのでなくても、「ボランティア活動者数」の下にカッコ書きで登録者数をいれておくなどすると分かりやすいのではないか。
⇒計画の指標としてすべての数字は掲載することはできないが、個別事業の進行管理の際に、ボランティア登録者数などの細かい数字はチェックシートに記載される。
- チェックシートを参照という形で載せてはどうか。そうすれば、PDCAサイクルもイメージしやすくなる。

議 事 の 経 過

● 38ページを見ると、それぞれの指標の内訳が理解できる。掘り下げると細かい数字が資料としてきちんとあると考えると、記載しなくてもいいのではないか。

● 「外国人観光客の割合」の指標から観光客を増やしていこうという考えがあることは分かるが、「外国人住民」を増やしていこうという考えはあるか。⇒目標の3つ目に「外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり」を挙げている。外国籍市民にも暮らしやすいまちづくりを推進していくことで、結果的に外国籍住民が増え、地域の国際化につながるという大前提がある。

(2) 第四次川越市国際化基本計画（答申）（案）について

事務局説明。意見及び質疑は特になし。

(3) その他

2月12日（金）に正副会長が市長に答申する。

答申後、決裁等の手続き等を取り、計画の配布は3月になる予定。

その他ホームページにも掲載する。

4 閉会